

看護の共通技術（フィジカルアセスメント）に関する授業改善【看護/基礎看護】

1 はじめに

高等学校学習指導要の改訂を踏まえ、看護の共通技術である「フィジカルアセスメント」について対象となる人々の抱える健康問題を正確に判断するために必要な血圧測定の基礎的な知識と技術の習得を目指し、授業改善を進めることとした。特に「思考力・判断力・表現力等」の育成については、臨床の場で遭遇する身近な事例を学習内容に取り上げ、知識と技術の統合化を図るとともに、科学的根拠を踏まえ安全で安楽な援助が実践できるよう工夫した。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校の臨時休業や臨地実習の受け入れ困難等の状況に陥った場合や、臨地実習前の準備としても対応できるよう学習支援動画を取り入れた家庭学習の方策についても検討した。

2 単元名

第3章 診療と看護 第1節 フィジカルアセスメント

3 単元の目標

- (1) フィジカルアセスメントについて関心をもち、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
- (2) 身近な事例から知識と技術の統合化を図るとともに、安全で正確なバイタルサイン測定技術について根拠を踏まえ自分の考えを表現できる。
- (3) 体温・脈拍・呼吸・血圧のメカニズムを踏まえ、対象に応じたバイタルサイン測定が実施できる。
- (4) 循環の生理的な仕組みに関する学習を基に、バイタルサインから得られる健康状態について情報の重要性及びバイタルサインに影響を与える因子について理解している。

4 単元指導の計画（9時間）

第1節 第1	フィジカルアセスメントの概要……	1時間	
第2	体温……	1時間	
第3	脈拍……	1時間	
第4	呼吸……	1時間	
第5	血圧……	3時間	（本時5/9）
第2節	診察・検査と看護 第2身体計測……	2時間	

5 本時の目標

- (1) 血圧に影響を及ぼす因子について理解する。
- (2) 正確かつ安全に血圧測定ができる。

6 授業展開

導入 (5分)	授業の概要説明 ・本時の目標を理解し、学習の見通しをもつ。
展開 (40分)	講義 1 血圧測定の実際（基礎知識編） ①血圧とは ②血圧測定の目的 ③血圧に影響を与える要因

<p>展開 (40分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧測定の意義とその目的を知る。 ・ 既習内容である対症看護の中の『高血圧』の単元と照らし合わせながら、血圧に影響を与える要因について想起する。 <p>ワーク（事例学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧の変動因子とその対策について、科学的根拠を踏まえながら思考する。 <p>講義</p> <p>2 血圧測定の実際（技術編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ④間接法（非観血的血圧測定法）とは ⑤コロトコフ音（血管音）とは <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚機器を用いてコロトコフ音（血管音）視聴し、その変化や性質を確認する。 <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥血圧の測定部位 マンシエントの選択 ・ 患者の状況を判断して対応する必要性について ・ 測定部位と測定の際の留意点について、実物を提示することで実際の測定場面をイメージする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><実物例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デモ用人形の上肢に三角巾を巻き麻痺を設定する。 ・ デモ用人形の片方の上肢に点滴を付け、もう片方の上肢に包帯を巻くことで輸液中であり、かつ上肢に外傷を負った状況を設定する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象の体型や年齢に加え、輸液の有無や手術歴等正しい測定値を得るために必要な情報について知り、臨地実習と関連付ける。 <p>学習支援動画*の視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧測定方法と留意点、正確な測定値を得るための要点 ＊ 『血圧測定』動画（外部ページに移動します）
<p>まとめ (5分)</p>	<p>本時の授業を振り返る</p>

7 本時の評価

評価項目	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
<p>血圧に影響を及ぼす因子について理解できる。</p>	<p>血圧に影響を及ぼす因子は一定の範囲内で変動する生理的変動や、測定時の手技により変動することを理解している。</p>	<p>血圧に影響を及ぼす主な因子（食事・気温・運動・体位・喫煙や飲酒・精神的ストレス）について、三つ以上理解している。</p>	<p>血圧に影響を及ぼす因子について理解が不十分であった。</p>
<p>血圧測定時、正確かつ安全に測定できる。</p>	<p>科学的根拠を踏まえ安全に測定するための方法について思考し、血圧の正確な測定値を得ることができる。</p>	<p>血圧の正確な測定値を得るための手技を理解し、その方法を実践することができる。</p>	<p>血圧測定の流れが理解できておらず、正確な値が得られなかった。</p>